

令和7年度 項目別の自己評価表（仙台総合ビジネス公務員専門学校）

1. 学校の教育目標

「専門教育」と「人間教育」の両立を目指す CAREER COLLEGE 菅原学園は時代の変化に即応し、今必要とされる資格、技能、技術を確実に取得できるよう専門教育に力を入れると共に「ハイオアシス」運動の徹底のもと、きちんと挨拶、返事のできる人材の育成、そして学内で掲げる努力目標である「時を守り」「場を清め」「礼を正す」を実践するべく学校全体で取り組んでいる。

① 実学の実践

実学実践の中から自己学習能力を身に付けた人材養成を目指します。

実際に体験することを通じて現場で即戦力となりえる様々な技能、技術、理論を習得していきます。常に変化する社会の動向に対応できる行動力も身に付けていきます。

学んだことを現場で生かす大切さと必要性を学んでいきます。

② 人間性の向上

社会人として必要なマナーを身に付けた人材の養成を目指します。

人は多くの人との関係の中で初めて人になります。人間的交わりが少ないといわれる現代社会では自分の在り方を見つめる機会も非常に少ないと言えます。

その中で、職業現場を意識した実習や様々なボランティア活動は、コミュニケーション能力を高め豊かな人間関係構築に大きな影響をもたらしてくれます。

相手の立場に立ち考え、行動することができる人材を養成します。

③ 社会への貢献

社会に貢献できるリーダーシップを持った人材の育成を目指します。

集団に対して作用を及ぼす人、グループを活性化させる能力を持つ人、指導能力、統括能力のある人。そのような能力を持つ人をリーダーシップのある人と呼びます。

学内での横割りの関係から、縦割りの学年の垣根を越えた学生同士のかかわりを意図的に築いていきます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

財政基盤の安定を図るための最重要課題である新入生学生募集を成功させること

在校生の除退学率の軽減をはかること

出席率の管理を個人別、クラス別に計数化し授業の満足度等もアンケートすること

新入生募集のために学校パンフレット（紙媒体）はもちろんのこと HP 等の中でオンタイムに情報を提供できるシステムの構築を更に進めていく。

双方向の情報交換の必要性を感じることから SNS (SOCIAL NETWORKING SERVICE) の利用を深化していくことが入学希望者に対して適切な情報を提供できる方策と考える。

学費納入については、菅原学園奨学金制度や日本学生支援機構による奨学金制度、高等教育の修学支援新制度（授業料等の無償化）を周知していきたい。また、従来の学費納入制度を一人ひとりにあったものにしていくことも必要な要件であると考えている。

このことは入学後の除退学率にも大きく影響するものであり、次に掲げている出席率の向上が学校への満足度と相関関係を持つのではないかと考えるものである。各学科、授業別に出席率を確認し、個人への指導に役立てており、今年度も95%以上の出席率を菅原学園全校で目標にしている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念、目的、人材育成像、特色、将来構想などが学生保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動に対する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業関連施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる用件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修が行われているか	4	③	2	1

(4) 学習成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
進路就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	②	1

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
学生募集活動は、適性に行われているか	④	3	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適当に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1